

## 婦中体育館で行っている環境及び防災に関する取組み

平時、非常災害(停電)時の運用方法

---



# 平時、非常災害(停電)時の運用方法

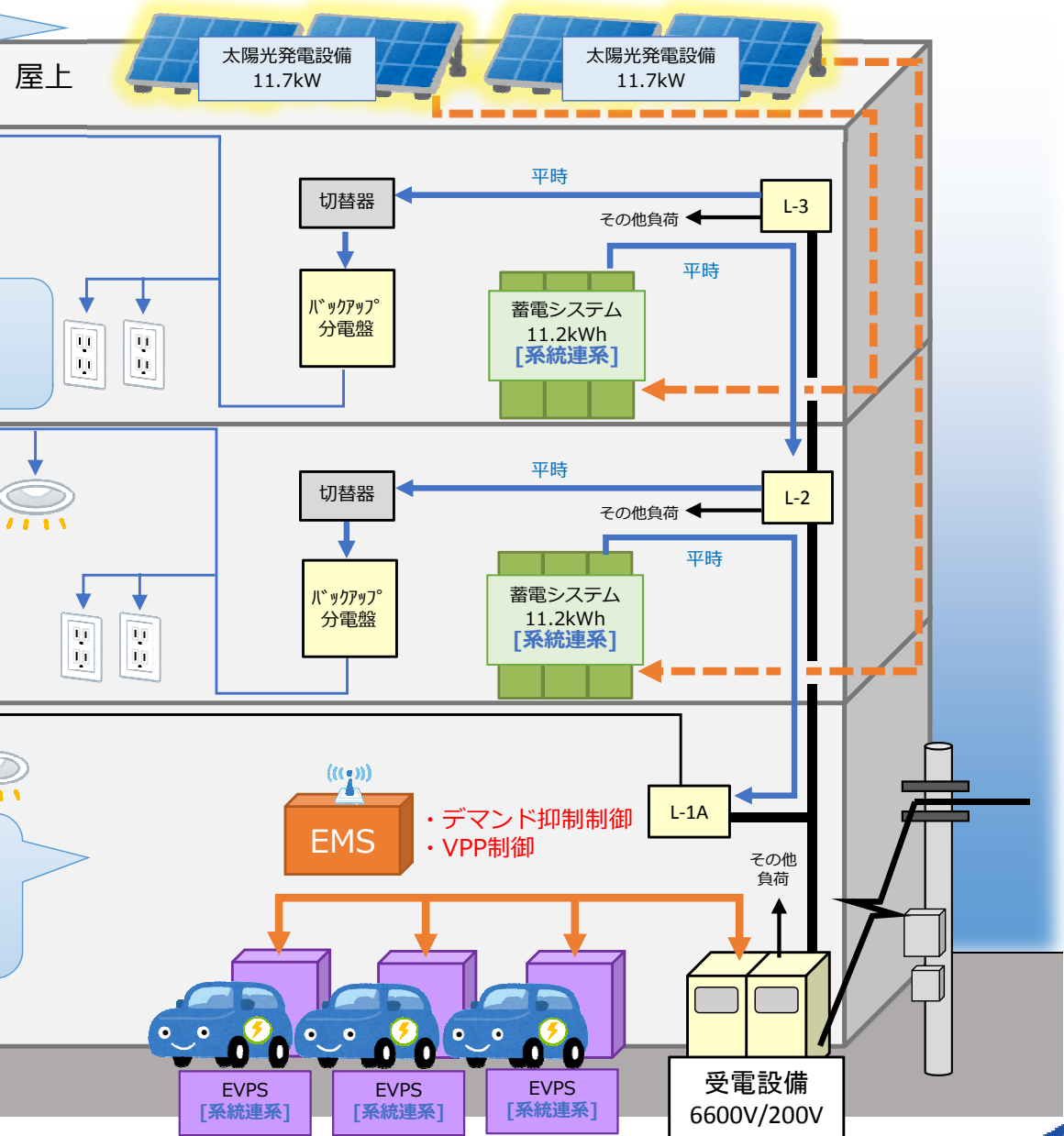
## (1) 平時 ① 省エネ・デマンド抑制

**Point1:** 太陽光発電電力は、自家消費を行い、余剰電力は蓄電システムに蓄えます。

**Point2:** LED照明や高効率空調への更新により省エネを図ります。

**Point3:** 卓球室へ新たに空調を導入し熱中症を予防します。

**Point4:** 将来的にEMSとEVPS、蓄電システムが連動してデマンド抑制やVPP制御を行うことでさらなる省コスト化を図ることが期待されます。



# 平時、非常災害(停電)時の運用方法

## (2) 非常災害時 (①停電時・浸水時 ※EVの接続がない場合も同様)

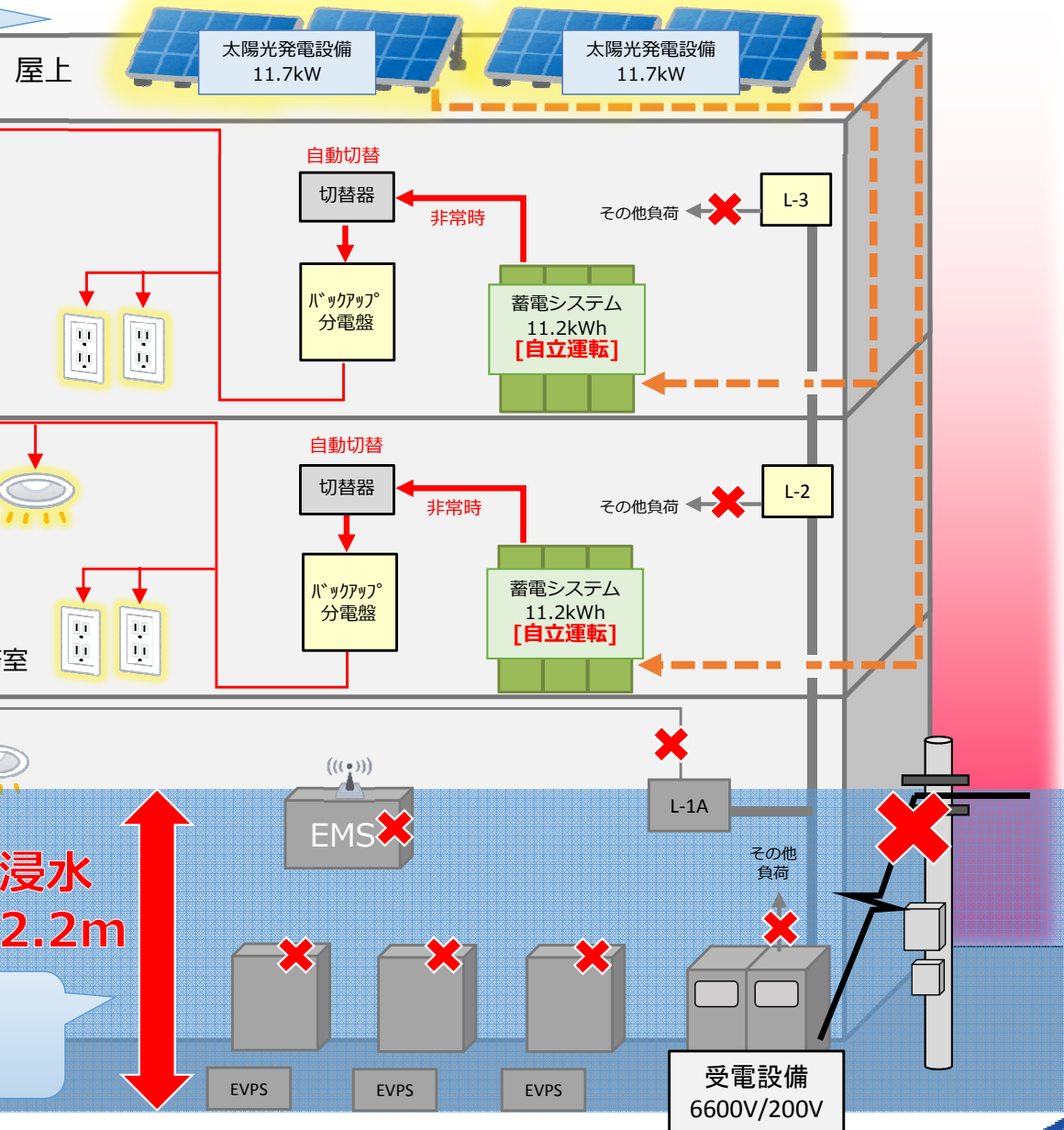
**Point1:** 太陽光発電と蓄電システムから特定の避難エリアへ電力を安定的に供給します。

**Point2:** 避難エリアでは、照明・コンセント・空調(一部)が使用可能となります。

**避難エリア**  
・剣道室  
・柔道室

**避難エリア**  
・卓球室  
・体育館事務室  
・婦中スポーツクラブ事務室

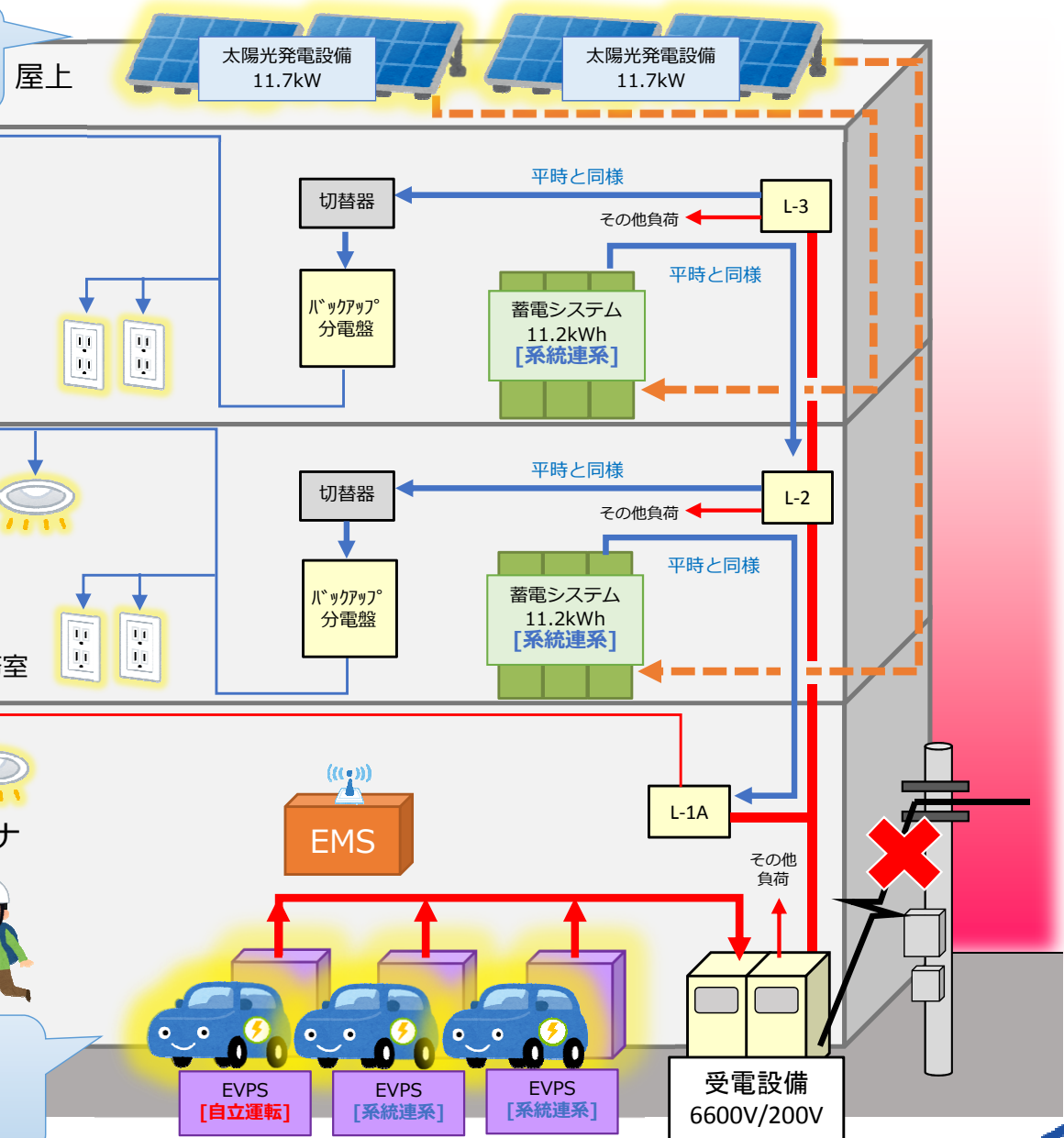
**Point3:** 1Fおよび受電設備が使用不能となっても回路の自動切換えを行い、2、3Fの避難エリアで電力の使用が可能なシステムを構築しています。



# 平時、非常災害(停電)時の運用方法

## (2) 非常災害時 (②停電時・EV接続時)

**Point1:** EVが接続され、蓄電池の総容量が増加することで、より安定的な電力使用が可能となります。



**Point2:** EVを接続することで、アリーナを含むほぼ全ての照明・コンセントが使用可能となります。  
※3相動力機器(事務所エアコン・ボイラー等)は使用不可